

私  
たち  
お  
仏  
壇  
の  
前  
で  
結  
婚  
式  
を  
挙  
げ  
ま  
し  
た



# いえ こん 家 婚 の す す め

～ 仏前結婚式 ～

こじんまりした結婚式くらいに思っていた  
でも 想像以上の感動だった

今まで自分たちを育ててくれた方々  
いのちの繋がりを紡いでくれたご先祖さま  
すべてのご縁を慈しみでつつみ込んでくださる仏さま  
みんなに見守られながらのあたたかな結婚式

かけがえのない「今」が  
感謝と よろこびで満ちあふれた





仏前結婚式をさせていただいて  
人と人のご縁をたくさん感じられ  
子どもたちに「お父さんとお母さんはこんな  
素敵な結婚式をもらったんだよ」と  
家の方で振り返りたい大切な時間となりました



人生の原点となるような結婚式を  
一緒にデザインいたします。  
お気軽に山口別院まで  
お問い合わせください。

仏前結婚式  
プランナー

田坂亜紀子



## ご縁の 中で

すべてのいのち、ものごとは深く  
繋がりがあって存在しています。  
嬉しかったこと、怒ったこと、  
哀しかったこと、楽しかったこと。  
すべてが積み重なり折り重なり  
そうして私たちの今があります。  
先人は今に連なる繋がりを  
「ご縁」と呼びました。  
そして、人生の節目には仏事を  
いとなみ、ご縁を味わってきました。  
結婚式もそのひとつ。

尊いご縁の中で出逢ったふたり。  
お家の仏さまの前で  
これまでのご縁をよろこび、  
お互いの尊敬と理解を誓い合い、  
未来へ踏み出す一歩をお祝いします。  
かつては一般的だった  
お家で挙げる「仏前結婚式」  
コロナ下の今、アットホームな  
「家婚」が見直されています。  
結婚という人生の節目を、仏さまの  
前で大切に過ごしてみませんか？



結婚したお坊さん

親鸞聖人

しんらんしょうにん  
(一七三〇～一二六三)



親鸞聖人は初めて公に結婚したお坊さんだと  
言われています。師匠である法然聖人は、  
「人生はお念仏をよろこべるように過ごさなさい。  
もし一人でもよろこべないのなら、家庭を持って  
お念仏をよろこびなさい。」という言葉を残され  
ています。親鸞聖人が活躍された鎌倉時代、僧  
侶が家庭を持つことはタブーでした。その中で  
も結婚されたのは、家庭の中に南無阿弥陀仏と  
お念仏できるよろこびを見出されたからでした。  
今は新型コロナウイルスの影響など、よろこ  
びを見出しにくい時代かもしれません。  
親鸞聖人の生きた時代も、戦や疫病、大飢饉  
など様々な災難が降りかかり、世の中が不安に  
包まれていました。そのような状況の中に生き  
た親鸞聖人は、阿弥陀如来の願いを確かな振り  
所として歩まれた方でした。どのようなことが  
あっても必ず救うという阿弥陀如来の願いの中  
に生きる姿は、やがて人々の心を安らぎとよろ  
こびで満たしてゆきました。他人を慈しみ、手  
を取り合って、「世の中が安らかであるように」  
と生きてゆかれたのが親鸞聖人です。  
日々のストレスや将来への不安と戦う中でも  
本当に揺らぐことのない振り所を見つけて  
「世の中安穏なれ」と願いながら、助け合い、  
ともに歩んで行きましょう。

この広告に対する感想をお聞かせください。宛先は下記へ。



本願寺山口別院

浄土真宗本願寺派山口教区教務所 〒754-0022 山口市小郡花園町 3-7  
TEL 083-973-4111 FAX 083-973-4631 www.yamaguchibetsuin.net

